



38歳 埼玉県議会議員

吉田よしのり

通信 第161号 2012年 秋 号
新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)
電話 048-483-2777
FAX 048-483-2780
ホームページ <http://www.yoshiday.com>
メール saitama@yoshiday.com

【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

- 1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(38才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て、法政大学法学部を卒業。卒業後、野村證券㈱に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。勤務中は、ファイナンシャルプランナー資格、アナリスト・経済・資格等も取得。
- 2000年2月、新座市議会議員に史上最年少、25歳で、市政始まって以来の3,855票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。2007年4月、トップにて再選。
- 2011年4月、無投票にて三期目当選。現在、無所属、民主党を中心とする第二会派の副代表をつとめる。財政規律をしっかりと堅持し、今後のあるべき社会保障制度、教育制度について議論を展開している。
- 趣味は、水泳、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。好きな言葉は「初心不可忘」「お前がやらずに誰がやる、今、やらずしていつできる」



引き続き、全力投球で活動して参ります！



平成15(2003)年4月、埼玉県議会議員に初当選をさせて頂き、丸9年が経過いたしました。

その間、埼玉県政では土屋義彦県政から、現在の上田清司政権へと変わり、また、国政では40年以上に渡って続いてきた、自民政権から民主党政権へと移り変わりました。

日本では本格的な政権交代が始めて起り、その期待の大きさと、政権奪取後の民主党の政策運営の隔たりが余りにも大きく、私を含め、落胆を通り越し、怒りの気持ちを持たれている方も多いと思います。しかし、誤解を恐れずに、批判を恐れ

ずに、私は敢えて申し上げます。今後も、成熟した日本の民主主義政治には、政権交代は絶対に必要だということ、です。

ヨーロッパやアメリカなど、民主主義が根付いている成熟した国家では、政権交代は常に起こっています。しかしながら、日本では、長い



歴史の中で、事実上、初めての政権交代が、今、私たちが経験している、ここ2-3年間の出来事です。

民主党が掲げた政策が、その財源を含めて余りにも杜撰で、バラマキ的色彩が強く、また、情けないよう

な党内での対立も目立つなど、評価に値するような事すら見つけられない状況ではあります。また、政権交代が初めて経験したことだからと言う、言い訳もできないことも事実です。しかしながら、二大政党とは申し上げませんが、緩やかな2つないし、3つなど、複数の政党が、緩やかに、政権を交代させながら政策を決定していくというシステムは、成熟した民主主義国家において、絶対に必要だと考えています。



いま、大阪市の橋下市長の大阪維新の会を頂点として、全国で改革派と言われる知事や首長を中心に、新



たな政治グループを作る動きがあります。ここ、埼玉県においても上田知事を筆頭に、自民党や民主党、無所属などにとらわれず、超党派での改革派の議員グループが形作られてきています。

私自身もその中に身を置き、単に政局に惑わされるのではなく、大局的な歴史観や国家観について意見を交わし、今の日本の現状や世界の中での立場といった問題から、埼玉県や新座市といった地域の課題等についても意見交換を行っています。



そして、これらのグループが、先ほど述べたような日本政治にとって有益な政治グループになれるのかどうか、それとも単に国民受けする政策だけを掲げ、その場限りの政治グループになるのかどうか、当然、前者のグループになるべく、連携を図っていきたいと考えています。

2011年3月、私たちは歴史的

な節目を迎えたと思います。戦後から67年、改めて、日本の様々な価値観、例えばエネルギー戦略や経済政策などを、一から問い直す時期に来ていると思います。もちろんそれは、単に原発推進か反原発かといった、一時的な課題に対する答えを出すと言ったことではないと思います。

そうではなく、これから50年、100年先の日本がどうあるべきかという、長期的な方向性を指し示す



時期に来ていると思うのです。

もちろん、領土問題を始め、長期的デフレの問題、円高対策をはじめとする経済対策、人口減少下での年金・医療などの社会保障問題、少子化対策・雇用対策などの若年者政策、世界的人口が増加する中での食糧政策、TPP・自給率をはじめとする農業政策から、新座市内の歩道設置や、道路・交通問題、市債依存度



など財政問題、保育所待機児童の問題など子育て対策、学校教育問題、市内老朽化公共施設問題等々、身近なところまで問題は山積しています。

そうした課題を一つ一つ、今までの活動をしっかりと踏まえ、初当選の時の気持ちを決して忘れず、また、多くの方々に支えられて今の立場があるということをしっかりと意識し、今まで申し上げた認識の下、今まで以上に全力で活動をしていくことをお約束します。新座市のために、埼玉県のために、そして、日本政治全体のために、決断できる政治活動をしてゆきます。

地下鉄延伸問題について！

現在、新座市では大泉学園町付近まで整備着手予定(2015年)となっている都営大江戸線を、さらに新座市方面へ延長させるための要望活動を行っています(新座市栄、池田、馬場地区など方面へ延伸)。

2015年頃に国土交通省では最終答申を出す予定のため、それに向け、誘致活動を行っています。

また一方、現在渋谷止まりとなっている地下鉄副都心線が、来年2013年3月16日(土)より東急東横線との相互乗り入れすることが決定されました。

これにより、東武東上線・志木駅や、西武池袋線・ひばりヶ駅より、自由が丘、横浜・中華街方面まで、相互直通運転することとなります。

なお、所要時間は一時間弱程度、料金は570円程度となる見込みです。